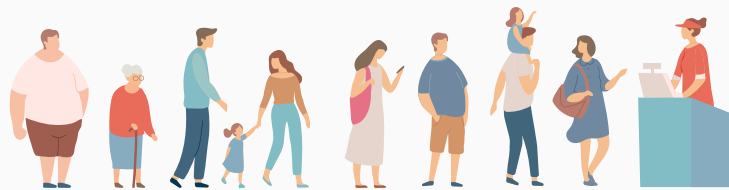


生活科学概論の紹介

科目の説明

生活科学部では、「生活科学概論」という学部共通科目を毎年開講しています。この科目は、生活科学部の掲げる基本理念、すなわち文系・理系といった枠組みを超えた「生活者の視点」を育むことを目的としています。

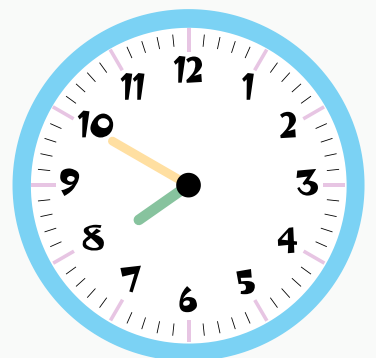
そのために、生活科学部の各学科・講座の教員がそれぞれの専門分野に基づきながら、一つの共通テーマに関して講義を行ない、物事や問題をさまざまな角度から多面的に捉え、総合的に考える機会を提供します。またこの機会に、生活科学の各専門分野にも関心を広げてもらい、所属の異なる学生同士でのコミュニケーションや問題意識の共有を図り、新たな教育・研究課題の発見、さらには問題解決に取り組む教員・学生の連携を生み出していきたいと考えています。ここでは、2025年度の「生活科学概論」の授業を紹介します。



2025年度のテーマ

2025年度のテーマは「時間」です。「時間」は古くて新しいテーマです。人間の発展は「時間」とともにあり、これまで様々な思索や取組が行われてきました。

講義では、生活者の視点から「時間」について考えます。私たちは、一日をどのような行動に費やすのか、一ヶ月や一年という時間をどのように捉え、どのような行事を行い、一生の節目にどのような通過儀礼を行うのでしょうか。また、社会や文化が成り立つには、動物としての人間がどのように時間を認識するのかという問題も関係します。多彩な講師と多くのゲストスピーカーを交えて、皆さんと一緒に「時間」について考えていきたいと思えます。



2025年度の担当教員

- 食物栄養学科 小林 正樹 生物と老化
- 生活社会学講座 斎藤 悦子 「生活時間」を考える：一日24時間の使い方
- 生活文化学講座 鈴木 禎宏 暦：太陰太陽暦と季節感について
- 心理学科 今泉 修 人間は「時間」をどう認識するか

過去10年間のテーマ

年度	テーマ
2024	生活世界におけるAI
2023	生活の中のからだ
2022	都市と生活
2021	コロナと生活
2020	情報通信技術と生活
2019	多様性
2018	年齢・世代II
2017	年齢・世代
2016	災害・防災
2015	防災・災害



過去の講義風景

